

第27回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年1月

応募者名: 東京都建設局

事業の名称: 東京都市計画道路

幹線街路環状第6号線整備事業

実施都市名: 東京都

渋谷区、中野区、新宿区、豊島区

事業目的

環状第6号線は、品川区東品川付近の放射第18号線より板橋区氷川町付近の放射第9号線に至る全長約20kmの道路である。本事業は、渋谷区松濤二丁目から豊島区要町一丁目までの約8.8kmの区間を首都高中央環状新宿線に併せて整備を行った。本路線の整備により、都心部の渋滞緩和、副都心相互の連携強化、首都高速道路や地下鉄の収容空間等も備えた道路となり、都市生活の利便性の向上が図られるものである。

事業概要

事業名称: 東京都市計画道路幹線街路環状第6号線整備事業

路線名: 環状六号線

事業箇所: 渋谷区松濤二丁目～豊島区要町一丁目

事業延長: 8,780m

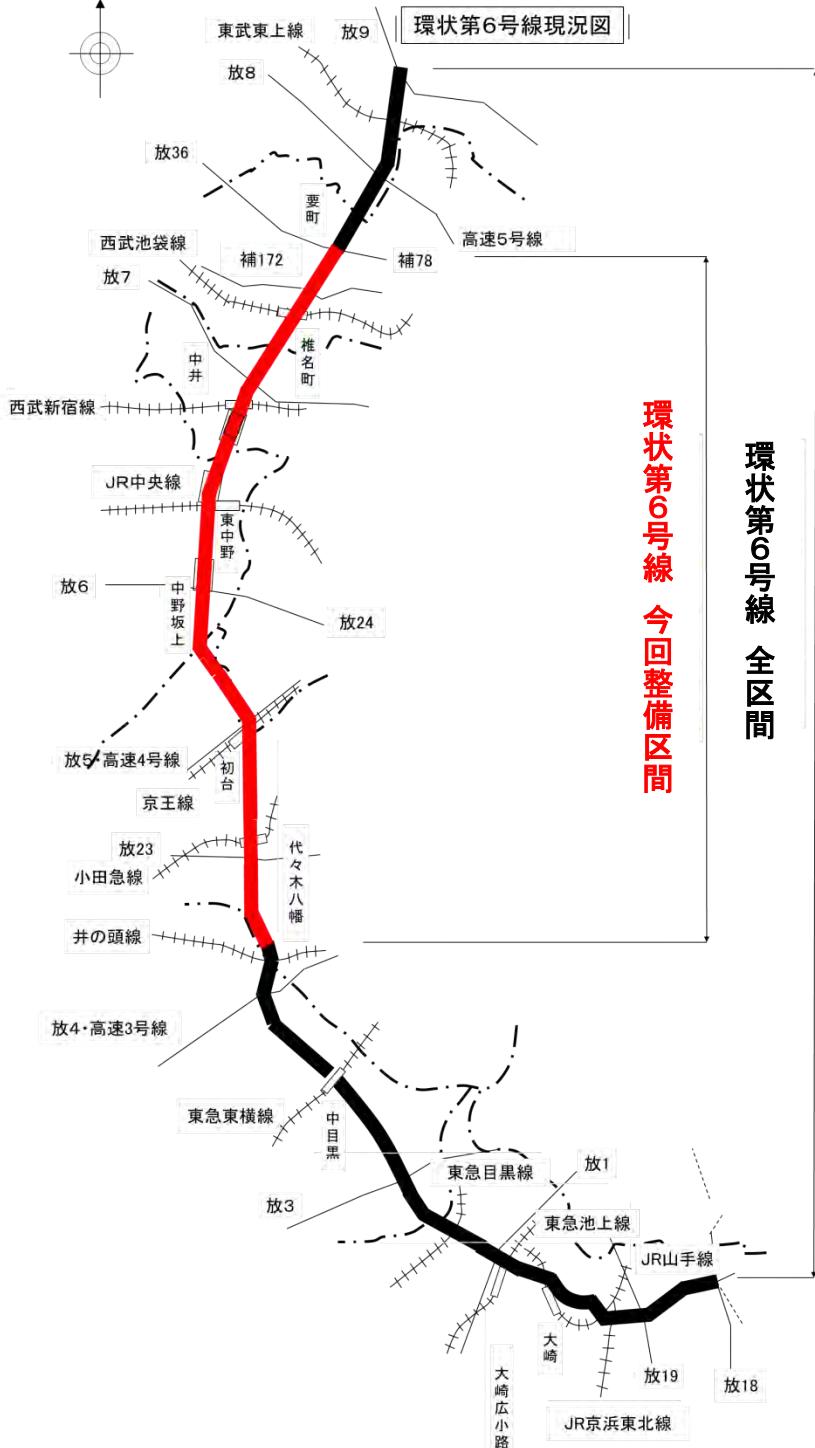
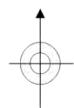
幅員: 40m

事業費: 約658,200百万円

事業実施期間: 平成3年度～平成25年度

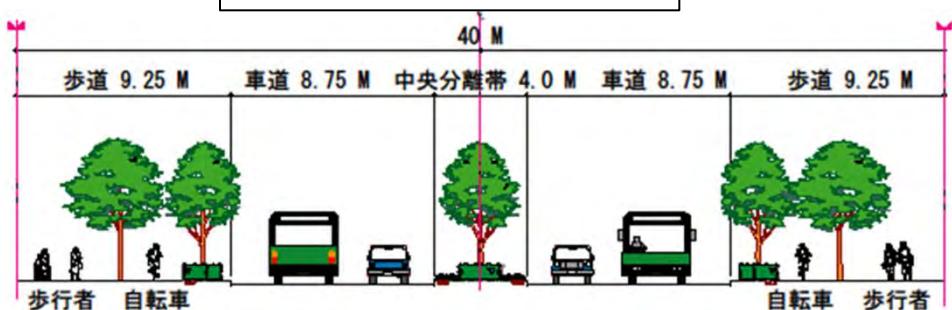
本事業は、全長約20kmの環状第6号線のうち、渋谷区松濤二丁目から豊島区要町一丁目までの約8.8kmの区間を幅員40mの道路として整備したものである。

事業位置図



環状第6号線 全区間

標準断面図



環状第6号線の整備効果アピール資料

①全ての交差点で右折レーンを整備



環状第6号線の3つの整備効果

①全ての交差点で右折レーンを整備
慢性的な交通渋滞を解消

②全線で停車帯を整備
停車車両による交通阻害の問題を解消

③全線で自転車走行空間を整備
慢性的な交通渋滞を解消

その他

- ・鉄道駅周辺では区の占用による駐輪施設を整備
- ・標識類の集約化
- ・全線で電線類の地中化

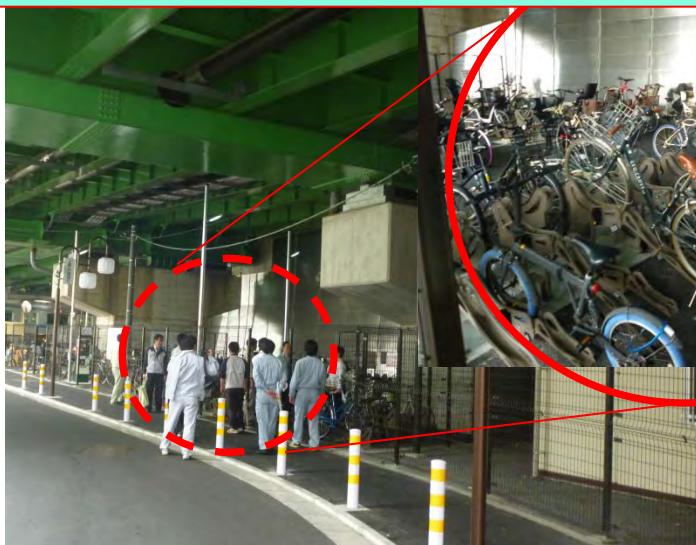
②全線で停車帯を整備



③全線で自転車走行空間を整備



その他 鉄道駅周辺では区の占用による駐輪施設を整備



標識類の集約化



街路灯と規制標識を同一の柱で整備

事業前写真

宮下歩道橋より南側を望む

平成11年7月撮影



富士見台歩道橋より南側を望む 平成11年7月撮影



事業後写真

平成25年 9月撮影



平成25年 2月撮影



路線全体の進捗状況

環状第6号線 全区間



東武東上線

放9

環状第6号線現況図

放8

放36

放7

西武池袋線

補172

高速5号線

補78

放7

中井

椎名町

西武新宿線

JR中央線

放6

東中野

放24

中野坂上

放5・高速4号線

初台

京王線

放23 小田急線

放4・高速3号線

代々木八幡

井の頭線

上目黒地区

$L=780m$

$W=30m$

東急東横線

中目黒

放3

放1

東急目黒線

東急池上線

放19

JR山手線

放18

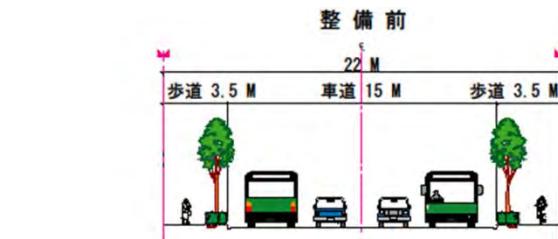
大崎

下目黒地区

$L=570m$

$W=30m$

西五反田地区
 $L=400m$
 $W=30\sim40m$



凡例

今回応募区間



施行済区間(完成区間)



工事中区間

